福岡県労連
KEN ZENROREN ROREN

2017 12月号 No.134

発行所　福岡県労働組合総連合
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南1－9－8　ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833　FAX092-433-1822
編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連　検索
〔定価〕1部10円
ホームページ　単産・単組の専用ページパスワード：otoshidama（1/1～1/31）

第69回 評議員会

評議員各位　福岡県労連議長　江口謙二
下記の日程で第69回評議員会を開催するので、ご参加ください。

と　き：**2月3日(土)** 13時から
ところ：**第3博多偕成ビル**
議　題：①経過報告　②2018年春闘方針案　③財政議案　④役員選挙

2018県民春闘共闘討論集会を開催

安倍9条改憲・労働法制改悪NO！

福岡県春闘共闘連絡会は、12月10日福岡市博多区の第三博多偕成ビルで、「総会」と「2018年県民春闘討論集会」を開催しました。総会は、午前中に17春闘の経過報告と18春闘方針が提案の後に質疑・討論を行い4人が発言。午後に討論集会を行いました。

8時間働いて普通に暮らせる社会を

討論集会は、下関市立大学の関野秀明教授による「18春闘における労働組合の課題－賃上げ、消費税増税阻止、平和」と題した記念講演が行われました。

関野教授は、①「アベノミクスの現状はどうか」と問いかけ、②実質年収4％の賃金減少は16万円になること、フルタイム労働者が減少し、パートタイム労働者が増加していること、③30代後半から50代が実質年収が減っていること、④資本金10億円以上の大企業は、97年以降株主配当5．08倍、経常利益を2．8倍、利益剰余金を2．5倍にしていること、⑤従業員の給与は0．94倍のマイナスになっていること、⑥日本の企業の株主が外国法人などに中心が変わっていること等を明らかにし、大幅賃上げで8時間働いて普通に暮らせる社会を作り、社会保障を大切にする福祉国家を作る為に、労働組合が果たす役割があることを力説しました。

データ表を活用し熱弁する関野教授

職場から運動をつくっていこう

引き続き、討論集会は、11人が発言し「安倍9条改憲NO！」3000万署名の成功、働き方改革に対抗し社会的賃金闘争を進めること、その為に職場からの運動を作っていくことを確認しました。

福岡県と対県交渉

取り組み広げて大きな運動へ

県民運動実行委員会は11月14日・15日の両日、福岡県庁および教育庁で対県交渉を行いました。11団体のべ73人が参加しました。

この行動は「県民運動実行委員会」に結集する民医連、新婦人、福商連、農民センター、福建労、県労連、医労連などが、それぞれの課題についての要請事項を、実行委員会でまとめたうえで、県当局へ提出し、各担当部局と交渉を行ったものです。

要求の内容は、大きく分類すると、①原発再生エネルギー②平和と民主主義③社会保障の拡充④中小企業・建設業ルール⑤労働行政⑥農林水産⑦子育て・教育⑧男女共同参画・ジェンダー⑨公共事業⑩水害対策の10の分野に及び、要求項目は134項目にも上りました。

交渉当日は、9時から、県庁内会議室で要請を行い、各担当部署が1時間をめどに入れ替わりで要請に対する回答を行いました。県は、毎年災害対策の回答で不誠実な回答をくり返しており、今年7月朝倉市東峰村を中心に九州北部豪雨災害がおこった中の対応としては問題です。文書での回答は来年2月～3月の予定です。引き続き、県民要求実現のため全力をつくします。県への要求をお寄せ下さい。

築炉じん肺第2陣訴訟

粉じん作業の被害救済を求めて

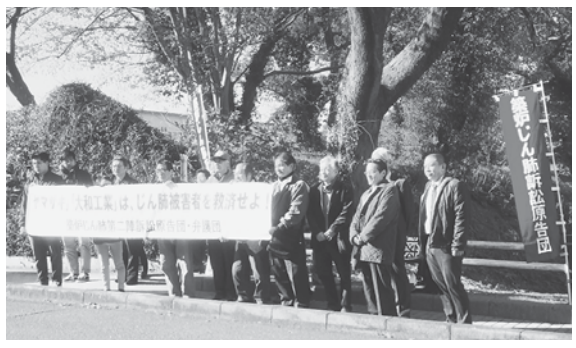
11月21日（火）午前10時半から福岡地裁での築炉じん肺第2陣訴訟公判が開かれました。傍聴には原告、建交労、西日本石炭じん肺長崎請求団、福岡県労連、国民救援会やアスベストで共に闘う福建労が参加しました。

本法廷から、かつてトンネルじん肺裁判を経験された裁判長に交代。公判では、原告弁護団の岩城弁護士から「じん肺法制定」の原点に返り、就労期間の長い短いではなく、粉じん作業に従事していたかどうかの問題だと主張しました。

報告集会では、弁護団報告に続き各方面から連帯の挨拶。最後に、建交労大牟田支部平川執行委員長の「団結がんばろう！」で勝利へ向けた意思統一を確認しました。

次回法廷は1月30日（火）午前10時半から開廷です。

労働組合の枠を越えて是非参加をお願いします。



裁判所前での報告集会

■ワードBOX　築炉とは？

全国には多数の製鉄所があり、鉄材を約1600℃程の高温で溶融化するための釜を「溶鉱炉」等と呼びます。「築炉」とは耐火性の煉瓦を加工・形成し積み上げて溶鉱炉等を建築する事です。この加工時に必ず粉じんが発生します。又、耐火煉瓦の隙間には断熱材としてアスベストが用いられていました。

第28回　人間らしく働くための九州セミナーinくまもと

人間らしく暮らせる職場・社会の実現を！

家族的責任を自分らしく果たす権利と健康についてパネルディスカッション

「第28回人間らしく働くための九州セミナーinくまもと」が、11月25日、26日の2日間にわたって熊本市の東海大学熊本キャンパスで開催され、初日の全体会には九州、沖縄各地から450人が参加しました。今年の九州セミナーは、「家族的責任を自分らしく果たす権利と健康」をテーマに、記念講演、パネルディスカッション、分科会で学習と交流を深めました。

全体会は、弁護士の阿部広美現地実行委員長のあいさつに続き、田村昭彦代表世話人会議長があいさつ。田村氏は、経済格差による健康格差、ブラック企業、労働法制の改悪、社会保障の切り下げなどが、過労死や健康破壊、家族も含めた生活破壊を進行させている現状を明らかにし、真にワークライフバランスが取れる働き方、働かされ方、社会生活に関して労働、社会保障、意識改革について学び、大いに討論しようと呼びかけました。

労働者の家族責任と健康の視点

記念講演では、群馬大学教授の齋藤周（まどか）氏が、「ワークライフバランスと労働法の役割～労働者の家族責任と健康の視点から考える～」と題して、憲法25条で保障された「生存権」を保障するカギとして、憲法27条「勤労の権利」や労働法の役割発揮、日本の労働時間規制の歴史、ILO165号勧告「家族責任勧告」などについて話されました。講演の中では、「もしも毎日17時に職場を出られたら」「もしも年休が1週間とれたら」などの会場インタビューもあり、和やかな雰囲気で楽しく学ぶことができました。

参加者を巻き込んんで和やかに記念講演（斎藤教授）

パネルディスカッションでは4人のパネリストが、自助・共助、自己責任・家族責任が過度に強調され、社会保障を切り下げ続ける社会は、誰もが陥る可能性があるシングルマザー、家族介護、非正規労働による貧困、過労死などを拡大させ、セーフティーネットが機能しない社会だと批判し、国民の権利としての社会保障の充実を求めていくことの大切さが強調されました。

2日目は、2つの特別分科会と10の分科会に分かれ、労働者の働き方や健康に関わる現状、各組織のとりくみについて報告・交流し、閉会集会で「人間らしく働き、暮らせる職場・社会の実現を目指していく」ことを確認した「セミナー宣言」を採択して、2日間の日程を終了しました。

女性センター第25回定期大会

安心できる社会保障制度への「改正」運動をすすめていこう

11月18日（土）福岡県労連女性センター第25回定期大会を開催し、加盟組合から22人が参加しました。大会は田村貴昭衆議院議員、県労連江口議長、前田部長の挨拶に続き、2016年度の経過／報告・2017年の方針等が提案され役員選挙で新体制が確定しました。午後から年金制度の学習を行い、交流を深めました。

主催者あいさつをする前田由美子部長

今年は年金制度の学習会

菅野美和子社会保険労務士を講師に迎えた年金制度の学習会では、年金相談で対応した事例を交え、年金請求にあたり気を付けたいことなどを「女性のための年金10か条」にまとめておこなわれました。制度の改悪を許さず、安心できる制度へと「改正」を要求することが重要。私たちが取り組んでいる運動についてさらに確信できた学習会でした。食事を頂きながらの交流は参加者から、最低年金保障制度を求める運動や公務員賃金の秋の確定闘争、看護師の過労死や保育・学童保育での人手不足の状況、司法修習生の給費制が廃止になった影響などについて報告もありその場で署名にも取り組みました。

2017年の常任委員は、小西浩子（福法労）・野田尚代（年金者組合）・前田由美子（自治労連）・宮本敦子（福祉保育労）・保元里美（医労連）の5人。事務局長は小川マリ子（県労連）。部長・副部長は、1月23日の第1回常任委員会で5人の中から互選します。

機関紙協会　デジカメ教室

2018年1月13日（土）10時30分～16時30分
会　場／福岡県労連　持参品／デジカメ（スマホ可）

この本おすすめ

エリオット・アーウィット 著 DOG DOGS

読書はとても大切ですが、活字を読むことに疲れるときもあります。

そんなときはこの一冊。ページをめくれば犬、犬、犬。マグナム・フォトのメンバー、エリオット・アーウィットが日本を含む世界各地で撮影した犬たちのいる風景。犬（と人）の生活のひとコマを切り取ったアーウィットの写真は、全編モノクロ。それがかえって彼らの表情を際立たせています。

「人間の最良の友」といわれる彼らの表情は、あなたに元気をくれることでしょう。さらにはこの一冊を手元に置けば、幸福を呼んでくれるかも。なぜならそう、2018年は戌年だからです。

（ふじおか　げんき）

出版／ファイドン
2005年5月刊
2,138円

「新春旗開き」のご案内

●県労連
とき　1月11日（木）18時30分
会場　With The Style Fukuoka（博多区博多駅南）
会費　5000円

●福岡地区労連
とき　1月20日（土）18時30分
会場　レストラン喫茶・香港（中央区舞鶴）
会費　3500円

●北九州地区労連
とき　1月12日（金）18時30分
会場　リーセントホテル小倉（小倉北区大門）
会費　5500円

●直鞍地区労連
とき　1月19日（金）18時30分
会場　川西公民館（直方市下新入）
会費　5000円

今後の日程　1/9(火)県労連四役会議　1/15(月)県労連幹事会　1/18～21 名護市長選挙支援行動　1/18(木)県労連青年部常任幹事会、県社保協国保部会　1/19(金)デーセントワーク宣伝、非正規労組連絡会　1/26(金)九州労働弁護団総会　1/28(日)日出生台集会